

第2回徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会 意見概要

整備方針 (案)	区分	意見概要
都市機能 集積による都市の にぎわい 創出	居住	子育て世代が地価の安い郊外へ、シニア世代が車の要らない中心部へ移動するのは自然の流れで、ライフステージによって住む場所も変わり、駅周辺の高齢化は問題ではないと考える。
		駅周辺には、日用品を購入できる施設が少なくなっている。
	商業	将来性のある業種に着目して、その動向を把握し、市全体のビジョンに沿って駅周辺に誘導する機能を議論すべき。
		駅周辺は飲食店が多く、店舗数が減っていない印象だが、洋服店は厳しい印象がある。業態別に実態が分析できるとよいかも。しれない。
		インターネットでの購買がより身近になっている。若者対策として駅前に来る目的をつくる必要がある。
	観光関連	駅前にはビジネス客が多いようだが、データ上把握できないか。
		観光案内所の機能や業務について見直しが必要ではないか。
	教育・ 子育て 関連	現在のアミコの一時保育は制限が大きい。有料でよいので、徳島市以外の人も利用できるなど、利便性の高い仕組みを作してほしい。
		商店街が専門の保育士を雇い、一時保育施設を運営している例もある。参考にしてはどうか。
	その他	ターゲット層については、この地域にあった区分を考えて、例えば、自由に使える車を持っていない層や、時間のある子育て終了後の女性層など他にも考えられるのでは。
実数だけでなく、市全体に対するシェアの分析等から、どのような役割が重要で、今後、維持発展させる要素を把握すべき。		
魅力ある 公共空間 の創出	地域資源 (眉山)	トレッキングコースや撮影スポットを兼ねた休憩所の整備など、眉山の魅力をもっと上げるべき。
		眉山は昔からの桜の名所で、観光資源につなげたいし、戦前には、眉山の中腹まで商店街や料亭もあった。
		眉山の物語を知らないただの山にしか見えず、物語を知ると登ってみようという気になる。子ども達に伝えていく必要もある。
	その他	他の観光地のように、統一された植栽や景観は、それが魅力となる。
		まちなかに、ちょっと休憩できる場所（ベンチ等）がほしい。 道路協力団体の制度を活用して、市も指定について柔軟に対応して、既存組織との連携によるイベント実施やにぎわいづくりを考えてはどうか。
駅周辺への アクセ ス性・回 遊性の高 いモビリ ティ	駅前広場	違法駐輪が多く、点字ブロックが塞がれている時がある。無料駐輪場の検討が必要だと思う。
		駅前広場は信号や場所の使い方などでずいぶん変わると思うので、横断歩道のスクランブル化など、色々な方法を考えてほしい。
	移動手段	公共交通は重要だが、車社会の徳島では、最低限の一般車の利便性も必要。
		レンタサイクル・コミュニティサイクルは、行動が限定されると使われない。導入する目的を整理し、整備するなら一気に投資する必要もある。
		駅部でのレンタカー機能が弱い印象がある。補助交通に関する選択可能性は多い方がいいのではないかと。